

帯広ーJICA 協力隊連携事業第 2 フェーズ長期派遣要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国
2. 職種・人数：家畜飼育 3名、コミュニティ開発 1名
3. 今回の募集：家畜飼育 2名
※残りの家畜飼育 1名及びコミュニティ開発 1名は、来年度募集予定
4. 配属先概要
 - 1) 受入省庁：企画庁
 - 2) 配属先：コミュニティ開発隊員・イタプア県生産開発局
家畜飼育隊員・イタプア県南部にある 3 市の市役所を予定
 - 3) 任地：コミュニティ開発隊員・エンカルナシオン市
家畜飼育隊員・イタプア県南部にある 3 市（調査中）
 - 4) イタプア県概要：

イタプア県は国内第 3 の都市エンカルナシオン市を県庁所在地とする。小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30 市町村から構成され、県庁は農業分野を担う生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多く、これまで様々なセクターで JICA の技術協力が実施されている。
5. 要請概要
 - 1) 要請理由

平成 24 年度から、JICA と帯広畜産大学は共同で「イタプア県小規模酪農家強化計画（FOPROLEI）」を実施している。この事業は、2 職種 4 名の長期ボランティアを県庁、コロネル・ボガード市、ヘネラル・アルティーガ市、サンペドロ・デ・パラナ市に各 1 名ずつ派遣し、家畜飼養管理技術、健康・衛生管理技術等の向上を目的としてプロジェクトを進めている。本年 3 月に行われた中間評価報告会において、これまでの成果について報告があり、各市において一定の成果が出たことについて報告があった。

また、同国の方針として酪農分野の発展、特に安定的で質の高い牛乳生産に取り組んでいることから、イタプア県から第 2 フェーズの要請がなされた。

この要請に基づき、青年海外協力隊事務局、JICA パラグアイ事務所、帯広畜産大学間で協議を行い、同県にて第2フェーズを行うこととした。

なお、同県内各市の酪農に関する課題は類似していることから、各市の酪農状況、安全状況等を調査し決定することとした。

2) 予定されている活動内容

牛乳の生産性向上や品質改善による経営向上に向けて、カウンターパートとともに下記の業務を行う。

1. プロジェクトのロードマップの作成
2. 搾乳場所や方法など家畜衛生の改善
3. 牧草栽培、サイレージ調製などを全般的な家畜飼料給与改善
4. 酪農組合の組織強化
5. 他市に派遣されたボランティアと連携し、問題や情報の共有
6. 春、夏に派遣される短期ボランティアと連携しての活動

3) 配属先スタッフ・同僚等

各市ともにカウンターパートとして1名配置予定
小規模酪農家組合員（複数名）

4) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）・グアラニー語

5) 選考指定言語：英語

※学内選考時は、TOEIC等のスコアは不所持でも問題ありませんが、JICA選考時に必要になりますので、JICAボランティア応募時まで各自受験しておくこと。

6. 資格条件

- 1) 学歴：本学卒業生、卒業見込者(2018年3月)、
- 2) 免許：家畜飼育隊員は、小型自動二輪免許取得が必要。

※現地の安全調査結果次第では、二輪免許が不要となる場合がある。

7. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：0~40℃
- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可

5) 水道：安定

8. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や搾乳実習などに参加すること。

以上